

科目名 Subject Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
乳児保育 I Baby Child Care I		1年	前期	木曜日・2時限、3時限、4時限
単位数	授業の形態	授業の性格		
1単位	演習	選択 (保育士養成課程必修、教職課程必修 (幼稚園教諭二種))		
当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目				
保育士資格取得に必要な科目				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
保育士資格取得に必要な科目				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス	
小島 寿美代	非常勤 講師室	授業内で指示します。	授業中に指示します	
授業の概要				
①乳児を理解し、乳児保育を理解する科目である。と共に、保育という学問、保育という仕事への意識を高め、より深い援助方法、保育内容の考察を深める。 ②ヒトが人となっていく道すじを辿ることで「生命」への意識を高める。				
授業の到達目標				
①乳児期の特徴が把握できるようにする。 ②乳児期の発達の概要が理解できるようにする。 ③それぞれに基づいて、具体的な生活の援助の初歩的なことが体得できるようにする。				
授業の方法				
講義・演習を取り入れ、理論と保育の実際の習得を図る。				
学習の成果				
①乳児の本質的な姿を理解することで、より乳児への興味を深めることができる。 ②乳児の発達を理解することで、自分自身も含め、様々な人間や生物への興味を深めることができる。 ③乳児の特徴を知ること、保育の実際を結びつけることで、「保育とは」「保育者とは」ということへの考察をすることができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス、概要説明			
第2回目	[乳児保育の基本] 赤ちゃんを身近な存在として意識し、赤ちゃんに関わる自分を想像する。			
第3回目	[赤ちゃんをよく知る] 乳児期の特徴、赤ちゃんの偉大な力を知る。			
第4回目	[母子健康手帳から学ぶ1] 赤ちゃんとお母さんの育ちを学ぶと共に、自分も赤ちゃんだったことを意識する。			
第5回目	[母子健康手帳から学ぶ2] 胎児期、周産期、新生児期を知る。			
第6回目	[母子健康手帳から学ぶ3] 月齢別の特徴と生活 (1) 新生児期			

第7回目	[母子健康手帳から学ぶ4] 月齢別の特徴と生活 (2) 乳児期前期		
第8回目	[母子健康手帳から学ぶ5] 月齢別の特徴と生活 (3) 乳児期中期		
第9回目	[母子健康手帳から学ぶ6] 月齢別の特徴と生活 (4) 乳児期後期		
第10回目	[母子健康手帳から学ぶ7] 乳幼児期と子供関連の行事 「乳幼児健診」を知る。		
第11回目	[障害を持つ赤ちゃんのことを学ぶ] 「障害」ということを考える、一つの手掛かりとする。		
第12回目	[赤ちゃんの具体的な生活から1] 赤ちゃんの身体と衣類、オムツの役割。		
第13回目	[赤ちゃんの具体的な生活から2] 人形に洋服を着せ、オムツを当ててみよう。		
第14回目	[赤ちゃんの具体的な生活から3] 抱っこやオムツを学ぶ。		
第15回目	まとめと試験		
成績評価の方法と基準			
	評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度		30%	授業で使われる教材の準備。授業に集中し、ノートをきちんととっているか。積極的な質問等々。
レポート			
調査報告書			
小テスト			
中間・学期末試験		70%	詳細は事前に説明。
発表内容 (態度含む)			
その他			
教科書と参考図書			
教科書:「乳児保育」(南山堂) 参考書・参考資料:「母子健康手帳」 授業担当者より適宜指示または資料を配布する。			
履修上の心得・ルール			
目標を明確にし、自覚を持つこと。 自主的な学習を身につけること。 私語は慎むこと。			